



choshi
お知らせ
news

心身障害者(児) 医療費助成の申請

申問 障害支援室 ☎(24) 8968

重度の障害を有する人の医療費(健康保険適用分)を市が助成します。対象者には、申請書を郵送してあります。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため郵送での提出にご協力ください。

▶対象 ①～③のいずれかの手帳を持っている人

- ①身体障害者手帳1～2級
- ②療育手帳(A、A)の1、(A)の2、Aの1、Aの2
- ③精神障害者保健福祉手帳1級

対象者本人と同一の医療保険の加入者全員の市民税所得割合計額が23万5千円以上の人、65歳以上で新たに助成対象の障害者手帳が交付された人は対象外です。

▶必要な物

申請書(署名したもの)、①～③の手帳の写し、医療保険の被保険者証の写し(対象者本人と同一の医療保険の加入者全員分)

choshi
お知らせ
news

銚子市赤十字奉仕団から 簡易トイレを寄付

問 社会福祉室 ☎(24) 8195

銚子市赤十字奉仕団から、コロナ禍の防災活動として、災害時の避難者用簡易トイレをいただきました。

▶寄付物品

非常用携帯トイレ 1,000セット



健康 ひとくち MEMO



銚子市歯科医師会
宮本光輝

新型コロナウイルスと 歯科の感染対策

☎健康づくり課 ☎(24) 8070

診療時に唾液などが飛沫しやすい環境があり、新型コロナウイルスの流行当初から歯科医は「感染リスクの高い職業」と言われています。職業別のリスク評価では、不本意な事に1位2位が歯科医療従事者。テレビやSNSで、「歯医者って感染リスクが高いらしいから、控えた方がいいのでは?」という情報や、自院でも「感染が怖いから、少し予約を見合わせたい」と患者さんから連絡がありました。実際に皆さんは、感染流行当初から今日まで「〇〇の歯科医院で大規模クラスターが発生した」と耳にしたことがありますか?私は、ほとんどありません。

それはなぜか。歯科では、流行前より「スタンダードプリコーション」という予防策が行われていました。本人が感染症に感染している事に気付かずに来院する人がいるかもしれないことを前提とした対策で、口腔内や唾液などが付着した器具類を触る場合は、マスクや使い捨てグローブを使用し、ゴーグルや帽子を装着する。使用した器具は、ウイルスなどを死滅させる「滅菌」をし、患者さんごとに診療ユニット周辺の消毒を行います。他にも密にならない対策として、診療予約に余裕を持ち、待合室での混雑を避け、換気にも気をつけるようになりました。これらが総合的に歯科医院での感染拡大や、クラスターを防いだと考えられます。

感染対策の最後の砦は、自身の抵抗力。定期的に歯科健診を受け、お口の環境を整えることが大切です。

皆さんには、安心して歯科医院を受診していただきたいと思っています。

